

小学校 学級活動(2)指導案

令和6年7月11日(木) 第5・6校時
東祖谷小学校 全学年全児童8名
指導者 T1 栄養教諭
T2 学級担任

1 題材 野菜について学ぼう～野菜を1日350g食べるために～ 学級活動(2)エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2 題材設定の理由

豊かな食生活を送りながらも栄養が偏りがちな現代の子どもたちにとって、身体の調子を整える働きをもつ野菜は大変重要な食品である。しかし、現代の子どもたちは、野菜よりも肉、固い繊維質のものよりも柔らかいものを好む傾向にあり、明らかに野菜不足の状況がある。

本校の児童は、給食の残食もほとんど無く、野菜のおかずもしっかり食べている。しかし、5日間の生活実態調査の結果によると、1日の食事で給食時しか野菜を食べていない児童が複数いることが分かった。中学校卒業時に親元を離れる児童は、将来を見据えて家庭でも野菜をしっかり食べる習慣を身に付けておくことが重要であると考え、本題材を設定した。

全学年で行うことから、本時では、まず箱の中の旬の野菜当てクイズを行い、学習に対する興味・関心を高める。野菜に関するクイズでは、低学年は新しい知識として、中・高学年は復習として学べるようにする。また、野菜の実物などを提示し、野菜の1日の摂取目標量を食べるための作戦を班で考える。自分の食生活を振り返り、学校だけでなく、家庭でも自分ができること実践しようとする意欲を高めたいと考え、本題材を設定した。

3 活動の流れと指導助言及び評価規準

	活動内容	時間	指導上の留意	評価規準
事前の活動	生活実態調査	6/3(月) ～6/7(金) 家庭学習	・ お家の人と調査票を記入することで、家庭で課題への意識を高められるようにする。	・ 自己の生活を進んで振り返ろうとしている。(主体的態度)
本時	野菜について学ぼう ～野菜を1日350g 食べるために～	7/11(木)	本時の活動に記載	
事後の活動	・ バイキング給食 ・ 食育だより配付による家庭への啓発	7/12(金) 7/19(金)	・ 学んだことを生かしてバイキング給食のサラダをとるように助言する。 ・ 食育だよりを配付して家族で取り組みを話し合う機会を設ける。	・ いろいろな種類の野菜を食べている。 (主体的態度)

4 食育の視点

○野菜の働きや大切さが分かる。(食事の重要性)

○自分の食生活を振り返り、今まで以上に野菜を食べる意欲をもつ。(心身の健康)

5 本時

(1) 目標

野菜の1日の摂取目標量を食べるために自分にできることを考え、実践しようとすることができる。

(2) 展開

時間	児童の活動	指導上の留意点	評価規準
15 分	1 箱の中の旬の野菜当てクイズを行い、本時の学習内容を確認し、めあてをつかむ。	○楽しい雰囲気をつくり、学習内容や野菜の対する興味・関心を高められるようにする。(T1・T2)	【思考・判断・表現】 野菜をこれまでより多く食べるための作戦を考え、実践しようとしている。 (ワークシート・発表)
	野菜について学ぼう～野菜を1日350g食べるために～		
15 分	2 野菜○×クイズをする。	○答え合わせの際に野菜のパワーを知らせる。(T1)	
5 分	3 1日の野菜摂取目標量を知る。	○1日の摂取目標量の野菜(実物)を提示し、給食の野菜だけでは足りないこと実感できるようにする。(T1)	
8 分	4 班で1日の目標量を食べるための作戦を考える。	○クイズの答えを引用し、具体的な作戦が考えられるようにする。(T1・T2)	
2 分	5 考えた作戦を発表し、本時の学習を振り返る。	○家庭や翌日のバイキング給食でも決めた作戦を実践できるように助言する。(T1・T2)	

6 他教科との関連

1・2年 生活科 「野さいを収穫しよう」

5年 家庭科 「食べて元気に」

6年 体育科(保健)「病気の予防」